

2017広島交響楽団広島市巡回コンサート



# マイタウン・オーケストラ

エストロ  
秋山  
からの  
挑戦

あきやま

まも

迫力のオーケストラを聴きながら  
音楽クイズに挑戦しよう!!

# 広響音

U3きょう



※秋山出演公演は西区・中区・安佐北区のみ

指揮: 松元宏康 (1/29)、ナオコ・グリユンベルク・サカイ (2/11、12、3/11、12)、秋山和慶 (3/19、20、25)  
管弦楽: 広島交響楽団

## プログラム

- ◆ ビゼー: 歌劇「カルメン」～第1幕への前奏曲
- ◆ ヨハン・シュトラウス2世: ポルカ「観光列車」
- ◆ アンダーソン: プリンク・プレング・プランク
- ◆ ドヴォルザーク: スラブ舞曲集第1集 ～第7番 八短調
- ◆ チャイコフスキー:  
交響曲第6番口短調「悲愴」～第2楽章(抜粋)
- ◆ It's a small world (小さな世界)
- ◆ エルガー: 行進曲「威風堂々」第1番 二長調

**入場料** (全席自由)

おとな¥1,500 こども¥1,000 (3才以上中学生以下)

楽器紹介や  
指揮者体験の  
コーナーも  
あるよ!

## 公演日時・会場 (開場は各開演の30分前)

1/29 (日)	14:00～	南区民文化センター
2/11 (土・祝)	14:00～	安芸区民文化センター
2/12 (日)	14:00～	佐伯区民文化センター
3/11 (土)	14:00～	安佐南区民文化センター
3/12 (日)	14:00～	東区民文化センター
3/19 (日)	14:00～	西区民文化センター
3/20 (月・祝)★	14:00～	JMSアステールプラザ・大ホール
3/25 (土)	14:00～	安佐北区民文化センター

## チケット取り扱い

(各公演ごと) 各区の広島市立小・中学校PTA、各区民文化センター

★3/20 JMSアステールプラザ公演のみ下記でも取扱い

広響事務局、エティオン広島本店、福屋広島駅前店、福屋八丁堀本店、  
アルパーク天満屋店、チケットぴあ(Pコード309-020)、  
ローソンチケット(Lコード62212)

主催/(公社) 広島交響楽協会、広島市PTA協議会、広島市各区PTA連合会 共催/(公財) 広島市文化財団 特別協賛/中国電力 協賛/オタフクソース  
後援/広島市、広島市教育委員会、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅービー76.6MHz

※ご来場には公共の交通機関をご利用ください。 ※やむを得ぬ事情により、出演者および曲目を変更する場合がございます。



問い合わせ先/広島交響楽団事務局 TEL.082-532-3080

2017広島交響楽団広島市巡回コンサート

# マイタウン・オーケストラ 広島

## マエストロ 秋山 和慶 の挑戦



[3/19西区,20中区,25安佐北区]



指揮: **秋山 和慶** Conductor: Kazuyoshi Akiyama

1941年生まれ。トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現・桂冠指揮者)、シラキウス響音楽監督、東京交響楽団音楽監督/常任指揮者(現・桂冠指揮者)、九州交響楽団ミュージック・アドバイザー/首席指揮者(現・桂冠指揮者)を歴任。サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年6月、渡邊暁雄音楽基金特別賞を受賞。終戦・被爆70年を迎えた2015年8月、広島と東京サントリーホールで開催された広島交響楽団「平和の夕べ」コンサートを指揮、特にマルタ・アルゲリッチとの協演は大きな注目を集め、改めてその手腕が高く評価された。現在、広島交響楽団音楽監督/常任指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団アーティストック・ディレクター/プリンシパル・コンダクター、洗足学園音楽大学教授。

[1/29南区]



指揮: **松元 宏康** Conductor: Hiroyasu Matsumoto

東京都生まれ。幼少よりピアノ、エレクトーンを学び、洗足学園音楽大学ならびに同大学附属指揮研究所マスターコースを経て、2006年仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者に就任し、プロ指揮者としてのキャリアをスタートさせた。2009年沖縄で新設された琉球フィルハーモニックの初代専任指揮者に就任、2012年正指揮者に就任する。その後も、国内主要プロオーケストラへ定期的に客演しつつ、文化庁主催「文化芸術による子供の育成事業」、日本オーケストラ連盟主催「オーケストラの日」、沖縄県主催「県民クラシックコンサート」、仙台市主催「杜の都のふれあいコンサート」、豊橋市主催「豊橋市市制110周年記念演奏会」、全日本吹奏楽連盟主催「吹奏楽コンクール課題曲選考会」、大韓民国文化庁主催「International Wind Band Festival」、台湾嘉義市主催「International Band Festival」などのプロジェクトに携わり、年間のコンサート出演は70公演以上を数える。指揮法を秋山和慶、河地良智、増井信貴の各氏に、スコアリーディングを島田玲子氏に、クラリネットを松代晃明氏に師事する。現在、琉球フィルハーモニック正指揮者、プリッツフィルハーモニックウインズ音楽監督、VIVID BRASS TOKYO首席指揮者、洗足学園音楽大学講師。

[2/11安芸区,12佐伯区,3/11安佐南区,12東区]



指揮: **ナオコ・グリュンベルグ・サカイ** Conductor: Naoko Grünberg-Sakai

三重県桑名市出身。テトモルト音楽大学指揮科、広島大学教育学部音楽科卒業。広島大学在学中、大学合唱団にて指揮者としての歩み始める。卒業後東京にて合唱指揮者栗山文昭氏の下、合唱指揮者として研鑽を積むと同時に、高階正光氏に指揮法を師事。2007年に渡独。渡独後ロストックを経てドイツ国立テトモルト音楽大学指揮科に学ぶ。在学中DAAD奨学金(ドイツ学術交流会)、GFF(テトモルト音楽大学特待奨学金)、テトモルト音楽大学学長特待奨学金を授与。2013年モルドバ国際指揮コンクールにて2位受賞。2015年東京国際音楽コンクールセミファイナリスト。2012/13シーズンはゾーリンゲンのベルギッシュ交響楽団にて、音楽監督ベーター・クーン氏のもとアシスタントコンダクターを務め、自らも数々のコンサートを指揮し、同オーケストラと歌劇<<リゴレット>>にて満場のスタンディングオベーションの中、オペラデビューを遂げた。またテトモルト打楽器アンサンブルを指揮し、演奏はドイツラジオにて全国放送され好評を得た。現在は、ドイツ国内外にて指揮者、コレパティオとして幅広く活動している。なお、2017年発足のプロの室内楽団、ミンテン室内楽オーケストラの音楽監督に就任が決まっている。



管弦楽: **広島交響楽団** Hiroshima Symphony Orchestra

国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中国地方唯一の常設プロオーケストラ広島は、1998年に日本を代表する指揮者である秋山和慶が首席指揮者・ミュージックアドバイザーに就任し、2004年から音楽監督・常任指揮者を務めている。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>